

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会（事務局：全国私教連）
No.40 2020年12月7日（月）

12月4日 中間集約

9都道府県からの追加報告 250万筆を突破しました!!

昨年同期比 89.9%にまで到達 全国の奮闘に敬意を表します

予算案編成に向けた中央要請行動を今週末に控えています。新型コロナウイルスの感染拡大状況は、全国からの結集を困難にしています。しかし、関東ブロックを中心に、ここまでの到達点を確認する院内集会は開催の方向で動いています。その出欠席状況の先週末報告とともに最新の中間集約数の報告が10都道府県から届いています。

赤字が11月末～12/7までの中間集約数が届いた30都道府県です。

	自主目標	11月13日	11月末	12/4集約	12/4-11/30増分	目標比12/4	前年比12/4
北海道	50,000	500	28,864	29,156	292	58.31%	70.09%
青森			48,426	48,426	0		83.46%
岩手	84,800	14,868	64,828	64,828	0	76.45%	95.78%
山形	100,000	27,585	27,585	27,585	0	27.59%	31.77%
宮城	15,500	1,620	1,620	2,500	880	16.13%	15.50%
福島	30,000			3,386	3,386	11.29%	88.94%
茨城			14,183	14,183	0		99.39%
栃木	5,000	2,636	4,363	4,363	0	87.26%	91.60%
埼玉		30,000	39,000	39,000	0		84.31%
千葉	100,000	3,537	35,000	40,000	5,000	40.00%	79.21%
東京	300,000			51,369	51,369	17.12%	18.02%
神奈川	710,000	1,721	33,324	86,410	53,086	12.17%	80.11%
新潟	120,000	10,265	44,000	44,000	0	36.67%	55.62%
石川	20,000	2,130	2,130	2,130	0	10.65%	27.34%
愛知	2,000,000	734,643	1,556,437	1,782,393	225,956	89.12%	72.16%
岐阜	130,000		64,047	64,129	82	49.33%	81.06%
滋賀	150,000		31,300	31,300	0	20.87%	22.75%
京都	100,000		38,000	38,000	0	38.00%	32.15%
大阪	200,000			36,094	36,094	18.05%	26.69%
奈良	30,000	8,513	8,513	8,513	0	28.38%	29.95%
兵庫	100,000		64,572	64,572	0	64.57%	89.97%
島根	1,000	337	593	593	0	59.30%	59.30%
岡山	100,000	722	19,000	19,000	0	19.00%	84.46%
広島	30,000	1,500	1,500	1,500	0	5.00%	10.94%
山口	39,000	1,400	12,951	12,951	0	33.21%	79.84%
香川	30,000	2,650	4,161	4,161	0	13.87%	53.00%
愛媛	3,000	0	0	0	0	0.00%	0.00%
高知	50,000	5,797	14,893	14,893	0	29.79%	53.17%
佐賀		20,000	20,000	20,000	0		71.43%
熊本	60,000	270	5,089	5,089	0	8.48%	41.40%
	4,646,500	870,694	2,184,379	2,560,524	376,145	55.11%	61.28%

都道府県組織の構えが、集約増の決め手になります

11月末の報告数と12/4の報告の間の増数に都道府県組織のとりくみが現れてきます。

もちろん愛知の22万5,956筆は桁違いの増加数ですし、全国が支えられています。

千葉は3日～4日の間で5000筆増加させています。宮城880筆、北海道292筆、岐阜82筆の増加も、未報告学園へ声をかけるなど、12/4の集約報告を意識した動きで出てきた数字です。

都道府県組織が節目となる集約日を設定し、各学園へ声をかけていくことが、地道な署名集約につながっていきます。

東京、大阪からはコロナ禍を含め署名とりくみの困難も聞こえてきます。

けれども

「私学の無償化は折り返し点」
「私学の少人数学級実現には経常費助成の増額が必要」

「長時間労働解消のための専任増は経常費助成の増額が必要」という点を共有するとりくみが署名の推進力になります。

この情勢の共有を繰り返し、情勢を拓ける事を位置づけて、2月の国向け提出まで働きかけを継続し、強めていきましょう。